

平成 26 年度北斗市社会福祉協議会事業報告について

1 会員増強運動の推進

北斗市社会福祉協議会の財政基盤の確立を図るため、市民の皆様のご理解や町会連合会のご協力をいただき、個別会員の加入促進や市内の企業・事業所等の賛助会員の増強に取り組みました。

■ 会員数

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	内 訳	金 額	内 訳	金 額
戸別会員	14,472 世帯	2,894,400 円	14,548 世帯	2,909,600 円
個人会員	220 人	220,000 円	223 人	223,000 円
団体会員	58 団体	174,000 円	57 団体	171,000 円
特別会員	86 町会	172,000 円	86 町会	172,000 円
賛助会員	137 事業所	1,152,000 円	132 事業所	1,104,000 円
合 計		4,612,400 円		4,579,600 円

※賛助会員増強運動期間 6月16～19日 4日間

2 福祉基金の積立状況

地域福祉事業に還元し、事業の安定化を図るため、市民の皆様から寄せられた浄財を福祉基金に積み立てるとともに、その活用を図りました。

	件 数	金 額
平成 26 年度	14 件	1,206,565 円
平成 25 年度	24 件	1,116,909 円

3 愛情銀行への預託・配分

市民の皆様からの善意を預託し、歳末募金と併せて、年末に歳末福祉見舞金として配分しました。

	項 目	金 額	内 訳
平成 26 年度	預託金	4,944,000 円	共同募金会 4,344,000 円 建設協会 500,000 円 園友会 100,000 円
	配分金	4,344,000 円	世帯数 362 世帯 1 世帯当たり 12,000 円

	項 目	金 額	内 訳
平成 25 年度	預託金	4,548,000 円	共同募金会 3,928,000 円 建設協会 500,000 円 園友会 100,000 円 南更生保護女性会 20,000 円
	配分金	4,548,000 円	世帯数 379 世帯 1 世帯当たり 12,000 円

■ 歳末福祉見舞金（福祉灯油代）配分集計表

区 分		準要保護世帯	遺児世帯	独居世帯	合 計
平成 26 年度	世帯数	278 世帯	50 世帯	34 世帯	362 世帯
	配分額	3,336,000 円	600,000 円	408,000 円	4,344,000 円
平成 25 年度	世帯数	292 世帯	52 世帯	35 世帯	379 世帯
	配分額	3,504,000 円	624,000 円	420,000 円	4,548,000 円

4 在宅福祉事業の推進

(1) 小地域ネットワーク活動推進事業

町会連合会及び民生委員児童委員連合会を中心として、市民と連携を図りながら、住民の皆さんが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、助け合いチームの組織強化を助長し、見守り活動を中心とした活動の支援を行いました。

また、福祉票を活用した安心安全の生活支援を継続展開しました。

	実施町内会数	75 歳以上の人口
平成 26 年度	86 町会	5,422 人
平成 25 年度	86 町会	5,422 人

(2) 独居老人訪問活動事業（福祉五目ちらし事業・サンタクロース事業）

高齢社会における在宅福祉の一環として、民生児童委員や高校生が贈り物を持って、70 歳以上の一人暮らしのお年寄宅を訪問し話し相手になるなど、その安否確認とふれあい活動を行いました。

	実施世帯数	地 区 別 内 訳	
平成 26 年度	1,195 世帯	本所地区 947 世帯	支所地区 248 世帯
平成 25 年度	1,187 世帯	本所地区 939 世帯	支所地区 248 世帯

(3) 法人後見事業の推進

判断能力が不十分なため、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見人等に就任することにより、本人の権利擁護を図り、地域福祉の推進に寄与しました。

	受任件数	内 訳
平成 26 年度	2 件	入院者（全員死亡（5 月 8 日・1 月 8 日死亡））
平成 25 年度	3 件	入院者（うち 1 名 8 月 15 日死亡）

(4) 地域サロン活動支援事業

一人暮らしの高齢者や家に閉じこもりがちな高齢者などが、地域とのつながりを深め、健康と生きがいをづくり等を目的とするサロン活動の普及のため、サロンサポーター養成講座や実践研修会を開催し、関係者等への情報提供・助言を行いました。

	実施状況	内 訳
平成 26 年度	(養成講座) 6 回 (助成団体) 2 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ サロンサポーター養成講座 ①基礎編：3 回、②実践編：1 回、③福祉コミュニケーション研修（サポーター、事業所）2 回 ・ サロン「たんぽぽ」（本所地区会場） ・ サロン「たんぽぽ」（支所地区会場）
平成 25 年度	(助成団体) 4 町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茂辺地町内会（地区サロン活動） ・ 七重浜 4 丁目町会（ふれあいサロン） ・ 久根別はまなす町会（ふれあいサロン活動） ・ 久根別みどり町会（お茶とカラオケ・触れ合いサロン）

5 福祉団体運営のための支援

福祉団体のなお一層の活性化を図るため、次の福祉団体の事務局業務を行い、団体運営の支援とともに活動費助成を継続実施しました。

(1) 老人クラブ連合会

ゲートボール大会、交通安全街頭啓発、パークゴルフ大会、リーダー研修会、施設演芸慰問活動、老人クラブ大会、新年研修会など

(2) 身体障害者福祉協会

ミニスポーツ大会、レクリエーション、視察研修、新年研修会、カラオケ大会など

(3) 母子寡婦会

夏まつり出店、視察研修、施設慰問、新年研修会、ふれあい運動会など

(4) 遺族会

春秋のレクリエーション、平和祈念祭、北海道戦没者追悼式、道南遺族大会、新年研修会など

(5) ボランティア連絡協議会

交流会、夏まつり出店、視察研修、ボランティア愛ランド、新年研修会など

(6) 北斗市戦没者慰霊会

北斗市戦没者慰霊祭

(7) 北斗市共同募金委員会

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金

6 心配ごと相談事業の推進

住民の悩みごとや心配ごとなどの相談に応じる「よろず相談窓口」を通年開設し、住民の福祉増進を図るための相談事業を行いました。

■ 相談実績

平成 26 年度	相談内容	生計	年金	住宅	家族	結婚	離婚	医療	財産	母子
	件数	1件	-	-	1件	-	-	-	1件	1件
	相談内容	苦情	人権	健康	職業	精神	教育	その他	合計	
	件数	2件	-	-	-	1件	-	5件	12件	
平成 25 年度	相談内容	生計	年金	住宅	家族	結婚	離婚	医療	財産	母子
	件数	2件	-	-	-	-	-	1件	2件	-
	相談内容	苦情	人権	健康	職業	精神	教育	その他	合計	
	件数	4件	-	-	1件	1件	-	7件	18件	

■ 処理状況

	取 扱 内 容				合計
	再来	民生委員	他機関紹介	その他	
平成 26 年度	0件	1件	7件	4件	12件
平成 25 年度	2件	0件	13件	3件	18件

7 生活応急資金の貸付

低所得世帯の経済的自立と生活意欲の向上を図るため、一時的に必要な資金の貸付を行いました。

■ 貸付実績

区 分	平成 26 年度		平成 25 年度	
	貸付件数	貸付金額	貸付件数	貸付金額
生活保護世帯	5件	80,000円	11件	453,000円
母子家庭世帯	6件	400,000円	2件	120,000円
低所得者世帯	12件	501,000円	5件	290,000円
合 計	23件	981,000円	18件	863,000円

■ 相談実績

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	実相談人数	延べ相談件数	実相談人数	延べ相談件数
貸付等相談	57人	69件	65人	77件
償還等相談	34人	226件	42人	252件
合 計	91人	295件	107人	329件

8 生活福祉資金の貸付支援

北海道社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付制度に対し、離職者や低所得世帯、母子家庭、障がい者世帯等を対象にした総合支援資金、福祉資金、教育支援資金等の貸付において、民生児童委員との連携協力により、経済的自立と生活意欲の向上を

図り、安定した生活ができるよう生活福祉資金の貸付に係る相談・支援を行いました。

■ 貸付実績

資金別 世帯別	平成 26 年度					平成 25 年度				
	総合 支援	福祉	教育	その他	合計	総合 支援	福祉	教育	その他	合計
低所得	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
母子	-	-	4 件	-	4 件	-	-	3 件	1 件	4 件
身障	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
離職者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
被災者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	4 件	-	4 件	-	-	3 件	1 件	4 件

■ 相談実績

区 分	平成 26 年度		平成 25 年度	
	実相談人数	延べ相談件数	実相談人数	延べ相談件数
貸付等相談	32 人	100 件	36 人	51 件
償還等相談	42 人	126 件	48 人	168 件
合計	74 人	226 件	84 人	219 件

9 受託事業の推進

北海道社会福祉協議会及び北斗市からの委託を受けて、以下の事業を実施しました。

(1) 北海道社会福祉協議会からの受託事業

① 日常生活自立支援事業

高齢や障がいにより日常生活の判断能力に不安のある方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理などの援助を行いました。

	利用者数	支援回数	支援員数
平成 26 年度	4 人	110 回	5 人
平成 25 年度	4 人	45 回	6 人

※日常生活自立支援事業は、平成 25 年 10 月より北海道社会福祉協議会から委託を受けて実施したため、当該年度の支援回数は 6 ヶ月分の回数となっております。

(2) 北斗市からの受託事業

① 家族介護者交流事業

重度の高齢者を介護している家族に対し、介護から一時的に解放し、心身の元気回復を図るため、介護者相互の交流会を実施しました。

	参加世帯	実施回数
平成 26 年度	1 世帯	1 回
平成 25 年度	1 世帯	1 回

② 手話通訳者養成事業

聴覚障がい者の日常生活を支援するための手話通訳者を養成する事業ですが、平成 26 年度は実績がありませんでした。

③ 食の自立支援事業

調理困難な高齢者に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに利用者の安否確認を行いました。

サービス名	調理施設	平成 26 年度		平成 25 年度	
		実利用者数	延べ利用者数	実利用者数	延べ利用者数
施設配食サービス	特養 清華園	65 人	7,181 人	81 人	8,267 人
配食サービス	2 施設	4 人	210 人	7 人	381 人
合 計	3 施設	69 人	7,391 人	88 人	8,648 人

④ 北斗市保健センター管理事業

北斗市保健センターの指定管理者として、センターの貸出業務及び施設管理等を行いました。

■ センターの利用実績

	年間利用者数	月平均利用者数
平成 26 年度	12,889 人	1,074 人
平成 25 年度	11,751 人	979 人

⑤ 北斗市せせらぎ保健センター管理事業

せせらぎ保健センターの指定管理者として、センターの貸出業務及び施設管理等を行いました。

■ センターの利用実績

	年間利用者数	月平均利用者数
平成 26 年度	7,430 人	619 人
平成 25 年度	6,338 人	528 人

⑥ 除雪サービス事業

労力その他の理由により除雪が困難な高齢者世帯等に対して、積雪による災害の発生等を未然に防ぐため、町内会等の除雪協力員により居宅の除雪を行いました。

	老人世帯	老人独居	障害世帯	障害独居	老人世帯 障害世帯	老人独居 障害独居	合 計
	平成 26 年度	89 世帯	327 世帯	11 世帯	23 世帯	22 世帯	
平成 25 年度	86 世帯	327 世帯	11 世帯	23 世帯	24 世帯	16 世帯	487 世帯

⑦ 南渡島ファミリー・サポート・センター運営事業

子育て支援の一環として、提供会員の養成をしながら依頼会員の要請に応じてサービス提供をしました。

	依頼件数	会 員 数			合 計
		提供会員数	依頼会員数	両方会員数	
平成 26 年度	1,668 件	142 人	558 人	73 人	773 人
平成 25 年度	1,636 件	139 人	536 人	68 人	743 人

⑧ 養育支援訪問事業

育児ストレス等によって、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な原因で養育支援が必要と認められる家庭に対し、児童虐待未然防止等のため、訪問支援員を家庭訪問され、養育支援・援助等を行いました。

	訪問支援員数	養育支援数	訪問回数（会議含む）
平成 26 年度	6 人	5 世帯	42 回
平成 25 年度	6 人	5 世帯	26 回

⑨ 軽度生活援助事業

在宅のひとり暮らし高齢者の自立した日常生活を維持し、要介護状態への進行防止を図るため、ヘルパーを派遣しました。

	利用者数	延べ提供回数
平成 26 年度	1 人	9 回
平成 25 年度	5 人	62 回

⑩ 生活管理指導員派遣事業

基本的な生活習慣が欠如するなど、社会適応が困難な高齢者が日常生活に必要な指導等を必要とする場合に指導員を派遣する事業ですが、平成 26 年度は実績がありませんでした。

⑪ 移動支援サービス事業

屋外での移動が困難な障がい者に対して、社会生活上、必要不可欠な外出や余暇活動などの社会参加のため、外出の際にヘルパーなどを派遣し、移動の支援を行い

ました。

	利用者数	延べ提供回数
平成 26 年度	4 人	697 回
平成 25 年度	4 人	404 回

⑫ 北斗市地域包括支援センター事業

「北斗市地域包括支援センターかけはし」を設置し、要支援者の自立を目指した取組として、以下の包括的支援事業及び介護予防支援事業等を実施しました。

ア 総合相談支援事業

■ 相談実績

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
センター来所	220 件	389 件	233 件	412 件
電話相談	1,098 件	2,632 件	782 件	2,261 件
自宅訪問	297 件	892 件	152 件	749 件
その他	19 件	98 件	29 件	104 件
合計	1,634 件	4,011 件	1,196 件	3,526 件

■ 相談内容

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
介護相談	606 件	960 件	442 件	571 件
介護保険サービス	970 件	2,404 件	634 件	1,693 件
地域支援事業	180 件	440 件	122 件	257 件
保健福祉サービス	214 件	461 件	249 件	741 件
ケアマネジメント等	280 件	505 件	163 件	348 件
虐待・権利擁護	25 件	111 件	38 件	241 件
その他	48 件	250 件	116 件	410 件
合計	2,323 件	5,131 件	1,764 件	4,261 件

イ 権利擁護事業

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
成年後見制度	15 件	18 件	3 件	9 件
消費者被害	2 件	4 件	2 件	4 件
困難事例	31 件	246 件	30 件	214 件
その他	1 件	1 件	5 件	21 件
合計	49 件	269 件	40 件	248 件

ウ 虐待

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
身体的虐待	14 件	90 件	8 件	92 件
経済的虐待	1 件	5 件	1 件	5 件
精神的虐待	1 件	4 件	4 件	45 件
性的虐待	0 件	0 件	1 件	5 件
介護放棄	1 件	5 件	2 件	40 件
合 計	17 件	104 件	15 件	187 件

エ 介護予防マネジメント事業

■ 介護予防支援数

	平成 26 年度		平成 25 年度	
	実人数	うち新規	実人数	うち新規
要 支 援 1	1,724 人	57 人	1,770 人	70 人
要 支 援 2	3,024 人	91 人	2,936 人	82 人
合 計	4,748 人	148 人	4,706 人	152 人
月 平 均	396 人	13 人	392 人	13 人

オ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

事 業 名	平成 26 年度	平成 25 年度
福祉関係事業所研修会（包括・市・ケアマネ協会）	1 回	3 回
認知症連絡協議会及び研修会参加 （道南認知症疾患医療連絡協議会）	4 回	3 回
介護予防運動基礎知識研修	2 回	2 回
地域ケア会議	25 回	37 回
事例検討会	3 回	7 回
高齢者虐待予防研修会	0 回	2 回
地域ケア会議促進事業	6 回	0 回

カ 地域づくり

事 業 名	平成 26 年度	平成 25 年度
地域介護予防講座（予防体操含む）	27 講座	27 講座
認知症家族の会定例会・役員会(H25 より事務局)	18 回	14 回
運営推進会議	37 回	41 回
認知症サポーター養成講座	5 会場	7 会場

キ 地域支援事業（訪問アセスメント）

事業名	平成 26 年度	平成 25 年度
食の自立支援事業	59 件	118 件
生きがいデイサービス	271 件	270 件
軽度生活援助事業	1 件	2 件
二次予防事業	12 件	5 件
生活管理短期宿泊	2 件	3 件

10 介護保険・障がい者自立支援事業の推進

高齢者や障がい者が、その有する能力に応じて、可能な限り居宅において自立した日常生活が送れるよう、ケアプランを作成し、訪問介護等を行いました。

(1) 介護保険 居宅介護支援事業

■ ケアプラン作成件数

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
平成 26 年度	622 件	488 件	264 件	175 件	144 件	1,693 件
平成 25 年度	629 件	471 件	296 件	191 件	149 件	1,736 件

(2) 介護保険 居宅訪問介護事業

	介護度	利用者数 (人)	利用回数 (回)						合計
			身体 介護	生活 援助	身体 生活	介護 I 型	介護 II 型	介護 III 型	
26 年度	要支援 1	194	—	—	—	503	355	—	858
	要支援 2	221	—	—	—	304	723	609	1,636
	要介護 1	347	476	2,316	650	—	—	—	3,442
	要介護 2	189	231	981	162	—	—	—	1,374
	要介護 3	103	131	1,555	220	—	—	—	1,906
	要介護 4	37	355	332	432	—	—	—	1,119
	要介護 5	37	959	—	105	—	—	—	1,064
	合計	1,128	2,152	5,184	1,569	807	1,078	609	11,399
25 年度	要支援 1	222	—	—	—	603	561	—	1,164
	要支援 2	284	—	—	—	468	705	1,006	2,179
	要介護 1	306	366	1,781	431	—	—	—	2,578
	要介護 2	168	149	1,193	59	—	—	—	1,401
	要介護 3	89	168	791	268	—	—	—	1,227
	要介護 4	64	707	402	419	—	—	—	1,528
	要介護 5	49	1,427	1	74	—	—	—	1,502
	合計	1,182	2,817	4,168	1,251	1,071	1,266	1,006	11,579

※介護 I 型：週 1 回程度の利用、介護 II 型：週 2 回程度の利用、介護 III 型：週 3 回程度の利用

(3) 障がい者自立支援事業

	区 分	利用 者数 (人)	利 用 回 数 (回)					合計
			身体 介護	家事 援助	重度 訪問	通院	同行 援護	
26 年度	身体障害	231	1,276	2,088	—	640	87	4,091
	知的障害	21	—	—	—	—	—	—
	障 害 児	24	315	—	—	83	—	398
	精神障害	108	70	1,331	—	2,365	—	3,766
	合 計	384	1,661	3,419	—	3,088	87	8,255
25 年度	身体障害	182	1,020	1,030	—	418	45	2,513
	知的障害	—	—	—	—	—	—	—
	障 害 児	18	149	—	—	28	—	177
	精神障害	85	76	1,383	—	88	—	1,547
	合 計	285	1,245	2,413	—	534	45	4,237

11 福祉有償運送事業

介護を必要とする身体の不自由な高齢者や障がい者等で移送手段を確保することが困難な方に対し、福祉車両による移送を行いました。

	介護保険		自立支援		合 計	
	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
平成 26 年度	365 人	915 回	279 人	699 回	644 人	1,614 回
平成 25 年度	330 人	762 回	205 人	604 回	535 人	1,366 回

12 ボランティア活動による地域福祉活動の推進

市民にボランティア活動の意義を理解していただき、誰もが気軽に福祉活動に参加できる気運を高めるため、「福祉講座」や「ボランティア体験研修」を開催。また、障がい者と住民の交流、心のふれあいを通じて障がい者の自立と社会参加を促進するため、「ふれあい広場」事業を各関係者ととも開催しました。

また、福祉まつり開催にかかる運営に市内 150 名以上のボランティア協力を得るとともに、市内ボランティア団体等への支援・助成を行いました。

(1) 福祉講座

核家族化や少子化により児童や家庭を取り巻く環境が大きく変化し、地域のつながりが希薄化する中で、子育てに対する不安を抱えた若い世代が増加しており、子育てを支える仕組みとして、地域での活動を含めたシニア世代による子育て支援が重要な役割を担うことから、「地域で子どもをそだてる ～子育て世代を理解・受容する～」をテーマとした講演会を開催しました。

(2) ボランティア体験研修

特別養護老人ホーム「清華園」において上磯中茶道部員によるお点前を入所しているお年寄りに披露しました。

13 社会福祉大会・福祉まつりの開催

社会福祉大会及び福祉まつりは、総合文化センターにて開催し、社会福祉大会表彰式や同時開催のユニバーサル映画祭の実施、福祉用具の展示会、福祉施設作品展示販売、北海道盲導犬協会による歩行体験等を実施。開会式終了後、「盲導犬について」をテーマとした講演会を開催しました。

14 広報啓発活動の推進

社協の事業内容の理解と支援をいただくため「社協だより」を4回発行しました。また、ホームページを開設し、北斗市社会福祉協議会をPRしました。

15 苦情処理への対応

介護保険サービス事業に係る利用者からの苦情のほか、社協が行う事業全般に対する苦情等を受け、公平・適切、かつ速やかに問題解決を図るため、「苦情解決対策本部」を設置しているほか、第三者委員による「苦情処理相談員」4名を地区ブロックごとに配置していますが、平成26年度は苦情がございませんでした。